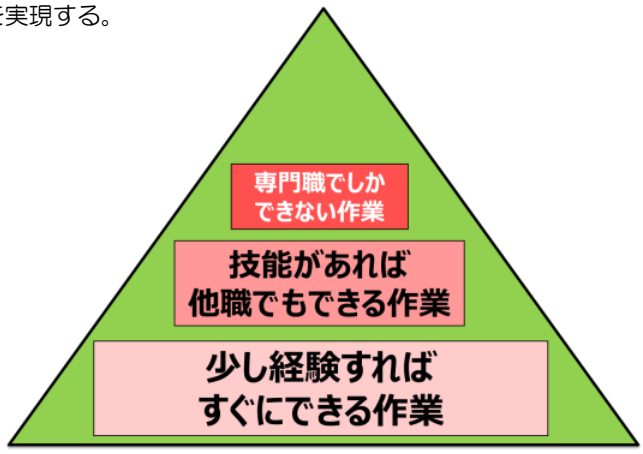
職種の枠を超えたコミュニケーションと作業工程の見直しにより、現場作業や人員配置の効率化を図っている

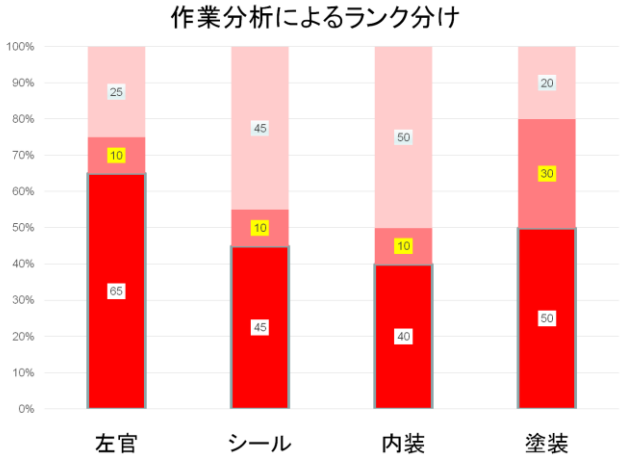
POINT

●作業手順の洗い出しにより課題を発見し、異業種のコラボレーションにより、単独業種での現場作業と比較し、効率化を図っている。（例：耐火被覆工と塗装工が一緒に養生することで、14%の人工削減が可能）
●異業種のコラボレーションにより一括請負とすることで、連続した工程の中で作業の効率化に加え、法令遵守や工程、設備、環境面での効果も得られている。
●防水工が左官工の技術指導を行うことで、防水工のスポット作業をなくし、施工の効率化を図っている。

作業分解・分析により、他職種でもできる作業を洗い出す

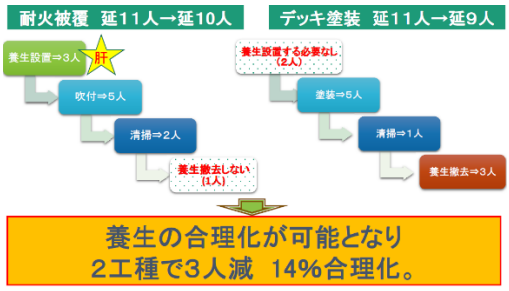
- 「左官」、「シール」、「内装」、「塗装」の各業務を「①専門職でしか出来ない作業」、「②技能があれば他職でも出来る作業」、「③少し経験すればすぐに出来る作業」に分解する。
- 各業務のうち、①が必要とされるのは全体工程のうちの 40～60%と分析し、②、③をターゲットとして、富士教育訓練センター等を活用して技能を習得する。
- 人手不足の現場で当該技能を習得した社員が活躍することで、入職２～３年目の若手の活躍の場の確保や受注機会の拡大を実現する。





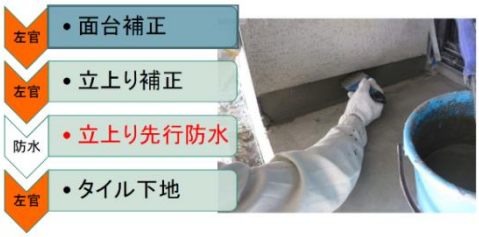
①耐火被覆工と塗装工が一緒に養生を行うことによる合理化

- 業種が異なるためそれぞれの工程で養生・撤去を行っていたが、一緒に作業を行うことで養生の合理化（２工種で３人工減）が可能となった。
- 一括発注とすることで、主任技術者の配置、円滑なコミュニケーションによる工程ロスの低減、ローリング足場等の架設資材の効率化、廃棄物の低減につながっている。



②スポット作業をなくす防水工と左官工のコラボレーション

- サッシ面台部の塗膜防水工事では、左官工程の流れに防水工の立ち上がり先行防水がスポット作業として入るため、品質・価格・納期・対応の点で課題があった。
- 防水工が現場にて施工指導を行い、左官工が立ち上がり先行防水を行うことでスポット作業がなくなり、施工の効率化を図ることが可能となった。



マルチクラフターの育成

- 入社前は SUT（スタートアップトレーニング）として、現場の環境や材料・道具の使い方を習得する。入社後は OJT、富士教育訓練センターを利用した HST（ハイエンドサポートトレーニング）により技能の修得を行っている。
- 最新の特殊塗装のトレーニング（APT、アイカプレミアムトレーニング）等を経て、７年後に１級塗装技能士合格を目指している。

株式会社 KM ユナイテッド
所在地／大阪市都島区都島北通１－２－１４
社員数／31 名（うち外国人建設就労者 2 名、
女性 8 名）
ＵＲＬ／http://www.paintnavi.co.jp/kmunited/